

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 1日 更新

事務事業名		LED街路灯導入促進事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進			所属課	総務課	担当者名	白濱 裕
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目4	事業連番11613	根拠法令	地球温暖化対策推進事業費補助金交付要綱	
							成果優先度評価結果		⑧
							コスト削減優先度評価結果		①
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 26 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地球温暖化対策推進事業費補助金（リース事業）を活用してLED化を行なった市内防犯灯827台の支払及び管理を行う。
【業務の流れ】	合志市LED防犯灯導入リースの支払事務 H27年度(4月～3月) 毎月払い H26.4月～H35.3月(リース期間)10年間
【主な予算費目】	LED照明導入補助事業(リース)3,991,680円/年
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行なった主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
地球温暖化対策推進事業費補助金（リース事業）を活用してLED化を行なった市内防犯灯827台の支払及び管理を行なった。		・ リースを継続する	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 改修台数	台	本体故障以外の修繕費（タイマー故障など）の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
防犯灯		⇒ ア 防犯灯	台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
電気料金の削減、CO2の削減		⇒ ア 電気料金削減額(年間)	千円
		⇒ イ CO2削減量(年間)	%
* ③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	台	827	827	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	台	827	827	0	0	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0
	イ	%	60	60	60	60	60	60	0	0
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,991	3,992	3,992	4,493	4,232	3,992	
	(A) 事業費計		千円	3,991	3,992	3,992	4,493	4,232	3,992	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円	0	0	0	0	0	0	0
人件 費	正職員 延べ業務時間	人	0	0	1	0	1	1	0	0
		時間	0	0	100	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	398	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,991	3,992	4,390	4,493	4,232	3,992	0	0

事務事業名	ＬＥＤ街路灯導入促進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

今後においてもリース事業の継続を行っていく

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善）
☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善）
☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策